

1992. 11. 30



尼崎市立小園中学校 第3学年

社 会 科 通 信

なんでやねん

発行責任者 倉橋 忠



No. 6 - 1

お待たせしました

久しぶりの社会科通信です

期末考查に向けてがんばってや号

1 学期の中間考查から、君たちを、ずーといじめ続けてきた、あの「自分の考え」を答えさせる問題。今回も出題します。

期末考查では、基本的人権を学習した君たちに、今日の社会問題である高齢化社会について考えてもらいます。授業で利用した新聞記事のプリント 2 枚をもう一度読み直して、考え直して下さい。

ところで今回は、大サービスとして、試験問題をそのまま、先に教えておきます。そのかわり採点はきびしいで。ちなみに、点数は10点を配当しています。

(問題) 高齢化社会と将来の自分の生活について、下の語句をすべて使用して(最低条件です)、自分の考えをまとめなさい。(関心態度)
高齢化社会 男女平等 個人の尊厳 国 家族

ポイントは、君も生きている限り、いつか老人＝高齢者になるということだ。子どもの数が減ってきている。それはなぜか。要介護の老人をどうするか。だれが老人のめんどろをみるのか。女性の働きたいという権利・生きがいはどうするのか。過労死に代表される今日のわが国の労働条件と、夫の家事労働の両立は可能か。老人と共に暮らすための必要な条件は何か。老人の生きがいはどう実現するのか。などなど、考えなければならない問題は、山ほどあるのだ。そして、君もいつか、確実に年をとっていくのだ。君ならどう生きる。どう切り抜ける。君自身が、政治家になったつもりで考えてくれたらいいよ。

なお、いつもの通り、結論や主張内容は採点基準には入れません。ようは、どれだけ客観的な事実にもとづいて、問題点をとらえているか、そのための解決策を考えているかなどが採点対象だよ。

友だちの作品(主張)から学ぼう

期末考查直前になって申しわけないけど、やっとなんか君たちの中間考查の「作品」をプリントにできました。今度の期末考查の勉強に参考にして下さい。ここに紹介する「作品」も、先生が手直しをしていないので、少し文章が読みにくいものもありますが、意味はわかるはずですよ。

◎「過労死」についての手記「お父さんへの手紙」を読んで(感想文)

私はこの手紙を読んで、現在の家族の問題と夫の労働条件などが深く関係しているように思いました。この手紙の中の夫は、家族を養っていくために仕事ばかりしていたけど、同じようにほとんどの人が長い労働時間のためにつかれて家族をかえり見るができなくなっていて…、そのためにお互いが理解し合えず、悩みや問題などを1人でかかえなければならぬような状態です。このような家族生活の問題は、労働条件の改善とともに国全体でとり上げていくべきだと思います。

3年9組 K. M.

◎ 中間考查で考えた君たちの「自分の理想の家族」

現代の家族は、教育費やマイホーム資金で支出が多いため、共働き夫婦が増えている。そうすると妻は家事が十分にできないし、夫も厳しい労働条件があるので家事分担などは期待できない。だから、この先は妻が働きに出なくてもいいとか、夫の労働条件を良く(週休2日制など)していかなければならない。そして、将来の家族は家族みんながそろう時間がたくさんあればいいと思う。

3年5組 R. M.

私は結婚したら専業主婦になって毎日、家事をしたい。でも、それではきつと、やっていけないと思う。今私は公立中学校に通っているけど、じゅくの費用を年間合計すると私立中学校の授業料とかかわらない。今は何かとお金がある時代。こういう時代を生きていく以上、共働きはしょうがないようにも思える。それに女でも仕事が好きな人は結婚しても働きたいだろう。だから、子どもを安心してあずけられる施設はたくさんいと思う。

3年5組 Y. I.

昔の封建的な古い考え方はやめ、子供も妻も、平等で、対等な立場で話し合えるような家族にしたい。この前、過労死の作文をよんで、これは他人ごとではないと思った。なぜ、そんなことになるまで必死に働かないといけないのかよくわからん。政府や会社の上のやつは、下のやつを人間とっていないのどちがうか。もっと休息や家族団らんを与えてやったらいいと思う。毎週土曜日休みにしたらいいと思う。

3年5組 S. K.

最近の家族は共働き夫婦が多く、家事をだれがするのか困っているようです。しかし、よく考えてみると昔は、夫婦で仕事し、家事をし、そして子供の教育をしていました。今、工業化したこの時代には、昔のようにはいかないのでしょうか。しかし、ぼくは問題解決への道はあると思います。週休二日制なんかは素晴らしい考えだと思います。ぼくは、土日は家で家族の時間が過ごせるような家族にしたいです。

3年6組 K. K.

1992. 11. 30



尼崎市立小園中学校 第3学年

社 会 科 通 信

なんでやねん

発行責任者 倉橋 忠



No.6 — 2

私の理想の家族は…、私も結婚したからといって仕事をやめたくありません。でも女性はいつかは産休というかたちで仕事を休まなくてはならない。けど、夫と家事を分たんして、うまくやっていきたいと思う。…これが私の理想。

今は、家の中のことは全部女性がするものだと思いますこんでいる人が多数ですが、私はそうは思いません。女性だってりっぱな仕事はいくらでもあるから、男性がそれに協力するべきだと思う。男性は仕事でつかれてかえってきたから、家事はしないと聞くけど、仕事をしてつかれてかえってきたのは女性も同じ。男性がもっと女性に対して理解すれば少しはよくなるかも知れない。

3年6組 M. H.

理想の家族というのは、やはり、家族団らんが常にあり、親子の接する機会が多いというものだ。昼間、誰もいなくて、子供は1人でカップラーメンでも食べて、両親は9時くらいに帰ってきて…という家族はイヤだ。でも、今の世の中は、家族団らんを求めているら生きてはいけなような気がする。夜遅くまで働いて、それでやっと普通の生活ができる。何故そこまでしなければならぬのか。会社の週休2日制だってあんまり実現していない。単身赴任だなんて、「家族」の意味がないのでは？ 労働条件の改善など行われているみたいだけど、全然実現されていない。もっともっと変えるべきだ。

3年6組 K. N.

たしかに今は子供の教育費などで共働きをしなくては生活していけないと思う。しかし、できるならば共働きをせず、子供のしつけぐらいは二人ですべきだと思う。だが、このことはよほど夫の給料が高くなければできないだろうから、やはり理想だと思う。それなら共働きをしてでも、労働時間を短縮し二人で家事などを分担しなくてはいけないと思うので、男だから家事をしないという考え方はなくして、二人で協力していくべきだと思う。

3年6組 K. S.

理想としては、結婚しても仕事を続けたい。だから、共働き夫婦。だから家事とか育児とかがきつときっちりにはできないと思う。でも私は家事を夫にさせるのはいやだから、夫が帰ってくる前には家に帰って家事などをして、夫が私の半分育児(保育所のおむかえとか、おふろに入れてくれたり)をしてくれたら、なんとかやっていけると思う。理想を実現するためには自分がなにに対しても一生懸命にがんばれば理想は実現できると思う。

3年7組 A. K.

ぼくは、個人的に家庭を中心にできる仕事につきたいです。日曜日などは、子供とあそんだりいろいろ子供とふれ合う家族にしたいです。世の中には、夜もまともに寝れない人もいるようですが、ぼくはそういう職業にはつきたいとは思いません。ぼく個人的にはそう思うけれども大人になってみるとどうなるかわかりません。家族とふれ合うことも大切だけど、その家族を養って行くためには仕事をせざるをえないのかも知れません。よく過労死などで死ぬ人は仕事にほこりを持っていた人もいますが、家族をやしなうために仕事をして死ぬ、そういう死に方のある人のいる日本はすこしおかしいと思います。

3年7組 Y. T.

現代の家族は共働きが多くて、子供は赤ちゃんの頃から保育所。小・中学校と大きくなってからはカギッ子でかわいそうだと思う。「子供の教育費のため」もあるけど、小さい子は親といっしょにいる方がいいと思う。女性が仕事と家事の両方を1人でやっていくのも「男女平等」とはいえなくて、おかしいと思う。夫と妻がもっと平等になるように仕事についても家事についても考えていかなければならないと思う。私は、将来、家族をもったら仕事はしないで子供のせわと家事をして、仕事は男の人にがんばってもらいたい。

3年8組 M. H.

僕の理想の家族は、共働きでも家族と会話のある家族にしたいです。けれど今の社会は長時間労働などで家族全員で食事をする 것도ほとんどなく、働きすぎで死んでしまうという人までいる。この問題をなくすには、労働時間の短縮と給料の値上げが必要だと思う。会社側は、そうかんたんにはいかないだろうけど、そういうことが少しずつでも実現しないと社会は少しも変わらないと思う。

3年8組 K. H.

私の理想は、夫婦共働きで、育児や家事も夫婦でする生活です。しかし、現実には、長時間労働や、男の人が家事は女がするものだったりしていてうまくいきにくいと思います。

共働きというのは、どちらも働いて同じぐらいつかれるものなのだから、男の人は「女が家事、育児をする」という考えを見直し、あらためるべきだと思います。

3年9組 A. W.

私が大人になってけっこうしたら、子どもができるまでは働いて、子どもができたら仕事をやめたいと思います。けれど、もし夫の給料だけではやっていけなければ内職とかすると思う。

外国から日本人は働きすぎだといわれるが私もそう思う。けれど働かなければ食べられないし、すごくたいへんだと思う。このごろ過労死が多くなっているけど、このことについて日本の政府がどう思っているのかと思う。もう少し働く時間を少なくできたらなと思う。

3年9組 S. M.

私は女性が働くことはいいことだと思います。共働きでも2人が協力しあえばなんとか家事とかはなると思います。はじめは、女の人が働くのに賛成だったのに、いざ働きますと「やめろ」とかいう男の人がいるけど、その人は「女の人には家事をしていればいい」という考え方で、女の人ばかりにおしつけようとするからです。別に女の人が働きにでて、男の人が家の仕事をしてもいいのです。

私は、ぜったいに「女の人が家事をしなくてはならない」と考えている男の人とは結婚しないです。

3年9組 Y. N.

現代家族はゆとりがないと思う。最近は共働きの夫婦が多いから、食事を家族全員でとるということもなくなってきたと思う。食事は家族のコミュニケーションをとる最適の場所だから、一緒にとれるようになればいいと思う。

私の理想は、子供が小さい時は育児に専念して、子供が大きくなったら家でできる仕事ができればいいなと思う。

3年9組 R. T.

私は将来、ずっと続けれる職業につきたいと思っています。結婚しても、家事を妻だけが負担するのはおかしいと思うし、働きたいのでやめたいと思います。子供ができたら、ある程度大きくなるまで休業して、家にいてあげたいと思います。その間、もし、お金に困るような事があったら、夫に無理をさせず、自分も働いて、その分、夫に家事を手伝ってもらいたいです。働いてばかりだと、過労死って問題もあるし、ほどほどに働いて家事を分担してするっていうのがいいと思います。

3年10組 A. N.

自分の理想の家族は、仕事も家庭もじゅうじつした家族である。

しかし、長時間労働で、家庭に帰れないという課題がある。それをなくすには、外国から言われているように、もっと休みを取るべきだと思う。旧西ドイツなどは労働時間は日本よりはるかに少ないのに、あれほどの経済大国になった。日本もこれらの国を見習って労働条件をよくするべきだと思う。

3年10組 Y. M.